

## 文化・芸術



### 「桐生本町通絵図・西側」(部分)

2006、10年、水彩色鉛筆、ペン  
和紙20・0センチ×29.56・8センチ

(作家蔵)

### 金原寿浩 (1962年)

金原寿浩さんは1962年、東京都豊島区生まれ。創形美術学校を修了後の86年、長野県大鹿村にアトリエを構え、91年には埼玉県所沢市へ転居。94年、桐生市に移住して、2007年からは織物工場跡の桐生市東久方町で作家仲間とともに「工房・金田丸岡平」を開設。このアトリエを拠点に活動を続けてきました。

本作は、桐生市本町通の直線一本道の商店街を、天満宮を起点に錦桜橋まで、一枚の横長の和紙にパノラマ式に描いた絵図です。

展示室の左右で横歩きをしながら見る本設。絵図に流れる時間に引き込まれていきます。さまざまな気配や時間、想像が交差します。

(小此木)

※4日(土)午後2時から展示室で金原寿浩さんのアーティストトークを開催。

### 〈名画の扉〉

大川美術館企画展「桐生のアーティスト2023 KIRYU Days—昨日の明日、そしてこれから」から